

彩龍の川だより

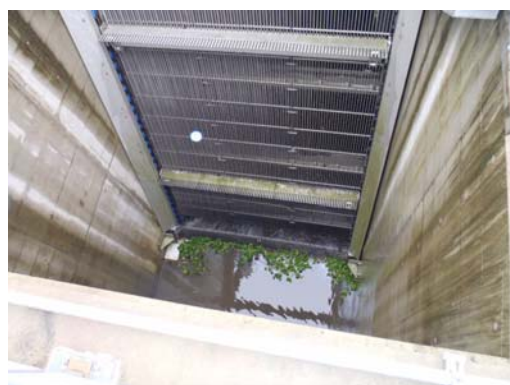
国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
首都圏外郭放水路管理支所
電話：048-746-7524
2010年10月12日 [第18号]

外郭放水路内のごみについて★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「外郭放水路に入ってくるゴミはどのように処理しているのですか？」ということをよく聞かれます。外郭放水路に取り込む河川の取り込み口には「除塵機」と呼ばれるスクリーンを設置しています。これは、幅3cmの鉄でできた網となっていて、これ以上大きなゴミが放水路内に入らないようになっています。スクリーンの前に溜まったゴミは機械で掻き揚げトラックに積み込んで仮置き場に運搬します。仮置き場に運ばれたゴミは天日乾燥した後、処分場に運び処理します。



倉松川除塵機



大落古利根川除塵機

トンネル内の土砂について★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

トンネル内には若干のゴミのほかに土砂が溜まります。これは水に混ざって運ばれてきたシルト質（粘土質）の土が沈降して溜まるものです。この量が意外と多い量になります。最近補修工事の際に一部区間の土砂を撤去していたりするため、年間にどの位溜まるかはわかりませんが、平成18年の完全通水以来、撤去作業が出来なかった第4工区トンネルでは約95cmも土砂が溜まっていました。これらの土砂はトンネルの中に建設機械を入れて撤去しました。



土砂堆積状況



土砂撤去作業

テレビ放送・雑誌掲載情報★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

～取材や撮影結果の発売・放送予定をお届けしています～

放送日	媒体	予定
8月25日	書籍	週刊帝国ニュース 埼玉県版 発行(施設が紹介されています。)
8月31日	書籍	埼玉新聞 発刊(施設が紹介されています。)
9月1日	書籍	向学新聞 発刊(施設が紹介されています。)
9月1日	書籍	上尾商工会議所広報誌「あびお」 発行(見学会参加報告として、施設が紹介されています。)
9月1日～	web	いつもNAVI 公開(全国の「観光・お出かけスポット」として、施設が紹介されています。)
9月12日	書籍	オプション2 発行(タイヤホイールの撮影場所に使用されています。)
9月13日	書籍	川の大研究 発売(地下河川の事例として、施設が紹介されています。)
9月16日	TV	フジテレビ「スーパーニュース」 放送(豪雨対策として、施設が紹介されています。)
9月20日	書籍	「NUMO-NOTE」別冊版 発行(国内の地下を利用した施設として紹介されています。)
9月末	書籍	東亜日報 発行(施設が紹介されています。)
10月4日	TV	テレビ東京「やりすぎコージー」 放送(天変地異の対策手法の一つとして施設が紹介されています。)
10月9日	書籍	メンズノンノ11月号 発行(施設が紹介されています。)
10月29日	TV	大愛テレビ(台湾TV局)ニュース番組 放送予定(施設が紹介されています。)
10月	書籍	「ふたりの時間」12号(バイエル薬品発行フリーペーパー) 発行予定(施設見学会が紹介されています。)
10月	TV	テレビ朝日「お願い!ランキング」 放送予定(施設が紹介されています。)
10月	書籍	日経新聞公告「三菱UFJリース」 掲載予定(公告背景として、調圧水槽が使用されています。)
10月下旬	書籍	(社)日本土木工業協会「100万人の市民現場見学会 200万人達成記念誌」 発行予定(冊子表紙等に施設写真が使用されています。)
11月1日	書籍	旭硝子中央研究所 所内報「はざわ」 発行予定(施設が紹介されています。)



▲「やりすぎコージー」撮影風景



▲「Oha!4 NEWS LIVE」撮影風景

工事等の予定★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○施設の点検作業等のため、11月29日の見学会はありません。(降雨状況により変更する場合があります。)

編集後記★★★★★★

暑い夏が終わり、ようやく涼しくなりました。今年は梅雨明けから9月16日まで洪水調節がありませんでした。平成14年6月の一部区間の供用開始以来、8月に洪水調整を行わなかったのは平成16年、平成19年に次いで3回目となります。特に今年は8月の降雨量が少なく、基準としている杉戸雨量観測所での8月の総雨量は23mmでした。

放水路調節実績★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

年度	調節回数	年間洪水調節量 (万m ³)	50m プールで
H14年度	6	840	5,600杯分
H15年度	5	601	4,000杯分
H16年度	7	1,569	10,460杯分
H17年度	7	909	6,060杯分
H18年度	7	2,021	13,470杯分
H19年度	6	879	5,860杯分
H20年度	10	1,592	10,610杯分
H21年度	5	742	4,950杯分
H22年度	5	446	2,990杯分
	58	9,599	64,000杯分

『彩龍の川だより』編集長(荒木茂)